JIMA

MEMBERSHIP GUIDE

一般社団法人
インターネットメディア協会
（JIMA）

ご入会のご案内

メディアの創造性と信頼をともに。

© JIMA

CONTENTS

目次

01	JIMA（インターネットメディア協会）とは	03
02	設立の背景	04
03	ミッションと目指す姿	05
04	代表理事ご挨拶	05
05	主要な活動① ― セミナー部会	06
06	主要な活動② ― リテラシー部会	07
07	主要な活動③ ― IMA・IMD	08
08	会員社の声	09
09	会員構成 ― 理事	10
09	会員構成 ― 正会員社・賛助会員社	11
10	会員区分	12
11	入会お申し込み手続き	13
12	お問い合わせ・事務局情報	14

© Japan Internet Media Association

01 ABOUT JIMA

JIMA（インターネットメディア協会）とは

一般社団法人インターネットメディア協会（JIMA）は、インターネットメディア事業および関連事業を行う法人または媒体が集まり、組織された団体です。

私たちは情報にとって「信頼性」こそが命だと考え、メディアやプラットフォームが生活者（インターネットユーザー）の方々にとって、より信頼される存在になることを目的に様々な活動を行っています。

セミナーや勉強会を通じて、メディアのビジネスモデルやデジタルコンテンツの課題を議論し、会員間で持続可能なメディアの在り方を模索しています。

部会一覧

JIMAでは、下記部会を設置し、テーマに沿った活動を行っています。

セミナー部会
知見、スキルの共有と会員同士の交流の活発化を目的とし、各種セミナーを実施しています。

リテラシー部会
メディアリテラシー理解促進のための啓発を実施。会員や一般の方向けのリテラシーセミナーの開催や、行政・他団体と連携してリテラシー普及に取り組んでいます。

Internet Media Awards実行委員会
JIMAが毎年主催している「Internet Media Awards」の企画・運営を行っています。

Internet Media Day実行委員会
メディア人が未来を切り拓くためのカンファレンス「Internet Media Day」の企画・運営を行っています。

パブリックリレーション部会
関係省庁や他団体との協力、提言について検討を行っています。2024年度に発足。

広報部会
プレスリリースやウェブサイトの運営など、JIMAの広報活動を行っています。

会員管理部会
新規入会申込の手続きや、入会時のサポートを行っています。

会計部会
JIMA事務局が行っている会計運営のサポートを行っています。

© Japan Internet Media Association

02 BACKGROUND
設立の背景

インターネットメディア協会（JIMA）が産声をあげたのは、2019年4月。ただし、設立に向かう出発点は2016年にありました。

当時、米国では激しい大統領選の過程で「フェイクニュース」というコトバが広く知られるようになりました。さまざまな偽（にせ）ニュースが生み出され、政治対立を煽りたてることで政治や広告ビジネスを揺るがす結果となりました。情報発信が容易となったインターネットを駆使して広がる情報に社会は混乱し、分断を深めていったのです。他方、国内では「WELQ問題」が起きていました。安全かつ正確であるべき医療の分野などに向け不正確な情報を粗製乱造する急成長ビジネスが台頭しました。ここでもまた、流通する情報の「信頼性」に、社会が強い警戒の目を向けるきっかけとなりました。

このように、顕在化した課題に対し、広く社会に向けて情報を発信する役割を担い、インターネットに携わるメディア業界自らが率先して、「信頼性」を高め、健全化していくための取り組みに着手すべきというコンセプトの下、JIMAは立ち上がりました。

意識したのは、フラットな立場での相互協力です。いまやインターネットを活用しないメディア業態は想像できません。「老舗」か「新興」かはもちろん、新聞・放送・雑誌・インターネット専業も問わず、それぞれの持つ課題や知見を共有し行動することで、消費者からの「信頼性」を高める責務を果たすのです。

同時に、業界全体が健全なビジネスの場として成長を果たすように協力し合えば、JIMA構成員各社に集う多くのメディア人の豊かなキャリア形成に資するものとも考えてきました。

テクノロジーの変化の波は激しく、これに個社で立ち向かうだけでなく、互いに協力し合うことが必須です。同時に、メディアリテラシー教育の普及、情報発信者（メディア）としてのメディアリテラシー養成の双方について、会員間で闊達に啓発し合える団体が、インターネットメディア協会（JIMA）なのです。

© Japan Internet Media Association

03 MISSION
ミッションと目指す姿



社会的使命

良質な情報が選ばれ、信頼されるインターネットメディア環境を育てること

ビジョン

読者・生活者にとって有益で、持続可能なメディアエコシステムを構築すること

04 MESSAGE
代表理事ご挨拶

インターネットメディアを取り巻く環境は、かつてない激動の中にあります。生成AIの爆発的な普及、メディアに対する信頼性の揺らぎ、プラットフォーマーとの関係性、そして不透明なデジタル広告市場とサブスクモデルの試行錯誤など、課題は多岐にわたります。

このような情勢下で、健全で信頼のおける情報空間を維持・構築する社会的責任は、これまで以上に重くなっています。JIMAは、設立時からの理念である「ユーザーの視点に立ち、信頼と創造性を通じて社会に貢献すること」を堅持し、さらなる価値創造に邁進します。



代表理事

竹田 直弘

文藝春秋総局 局長

© Japan Internet Media Association

05 ACTIVITY 01

主要な活動① ― セミナー部会

インターネットメディアが抱える課題解決に取り組むための事例を共有し、知見を高めるため、会員社限定のセミナー・勉強会を定期的に実施しています。2025年に若手部会が発足。メディア従事者向けのオープンなセミナー・勉強会も、他部会と連携して行っています。

なんでも相談会

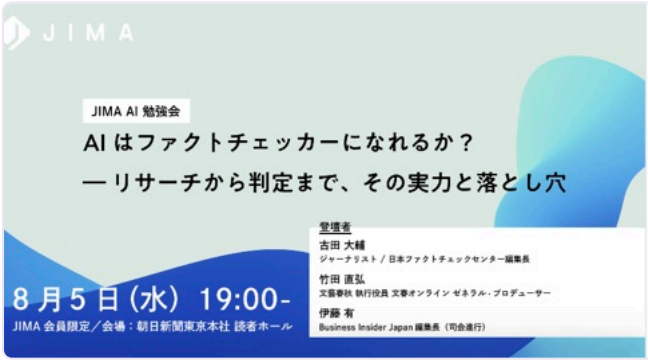
登壇者だけでなく参加者のみなさまにもご意見を伺う参加型セミナー。今どんなことに困り、どんな対策をしているのかを率直に話し合い、考え方や課題解決につながる方法を共に探ります。

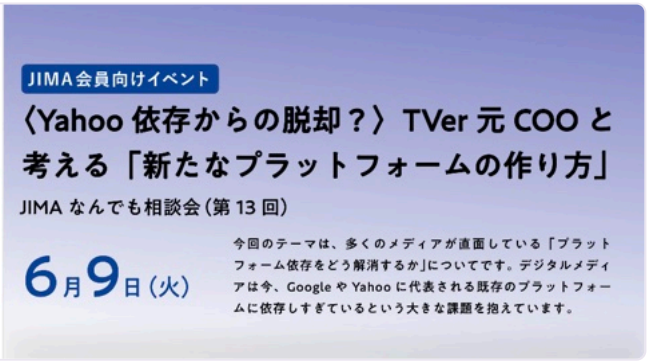
AI勉強会

メディア従事者として生成AIの利便性をどう理解し活用するか。法的視点や具体的なユースケースを最前線の方々にご紹介いただき、参加者とともに議論を深めます。

若手部会

新聞・テレビ・雑誌・インターネット専業とジャンルを越えて広がるJIMAのネットワークを活かし、30代前後の世代同士での交流・知見交換・課題共有を目的とした部会です。





過去の会員向けセミナー・勉強会はJIMAサイトよりご覧いただけます。
jima.media/activity/seminar-for-members/

© Japan Internet Media Association

06 ACTIVITY 02

主要な活動② — リテラシー部会

メディアリテラシーの向上を目指したイベントやセミナーの開催、情報発信を行っています。メディアリテラシーとは、「メディアメッセージを読み解く力」のこと。情報の発信者であるメディア関係者、情報の受け手や送り手になるインターネットユーザーのみなさんに向けた企画を行っています。









過去の活動はJIMAサイトよりご覧いただけます。
jima.media/series/media-literacy/

© Japan Internet Media Association

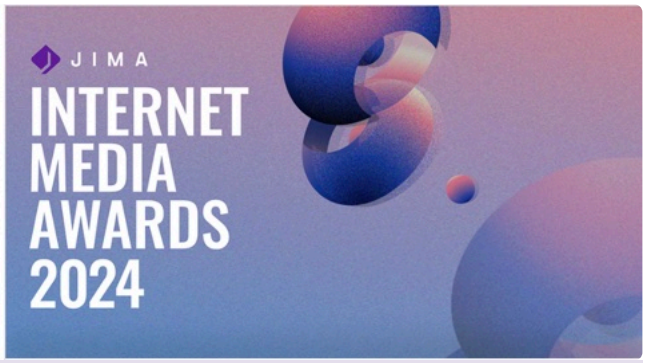
07 ACTIVITY 03

主要な活動③ ― IMA・IMD

Internet Media Awards（IMA）

信頼性のある情報をわかりやすく正しく世の中に伝え、社会をよりよい方向に導いた作品や活動に光をあてるとともに、情報伝達における質の高さを追求しイノベーションに挑むメディア事業社や関係者をたたえるアワードです。1年を振り返り、新しい年のよりよい作品創作や活動に活かし、メディアのさらなる発展を目指します。





Internet Media Day（IMD）

メディア人が成功と失敗を垣根なく話し合い、明日使えるティップスを共有するカンファレンスです。
2020年、2021年開催後、2026年にハイブリッド開催で復活しました。
2026年のカンファレンスでは「荒波上等。」をテーマに掲げ、メディア人がその荒波に流されることなく、自ら乗りこなしていくための気概を持ち、成功体験のみならず失敗談も含めて垣根なく語り合います。



過去のIMDおよびIMAについてはJIMAサイト内の【JIMAの活動】よりご確認いただけます

© Japan Internet Media Association

08 MEMBERS' VOICE
会員社の声

JIMAに参画した理由と良かった点、これからやりたいこと（議論したいテーマや勉強会など）を、会員社のみなさまに伺いました。

五十音順

ABEMA TIMES

ABEMA編集室室長
古川 政博 様

JIMAにはウェブ発の媒体だけでなく、雑誌や新聞社、テレビ局など成り立ちの異なる多様なメディアが集まる点に魅力を感じ参画しました。定期的な勉強会や交流会では各々の知見を共有でき、メディアリテラシーの向上に繋がっています。また、我々のように映像コンテンツを起点とする媒体も多く、共通の課題を語り合えるのも魅力の一つです。変化の早いインターネットメディア業界ではAI活用やDXなど、新たな可能性や課題が次々と生まれます。そうした都度発生するテーマを、今後も会員の皆様と一緒に考えていければと思います。

株式会社神戸新聞社

取締役（編集・論説・デジタル・DX 担当）
小山 優 様

メディアを取り巻く環境は大きく、急激に変化しています。今、目指している方向は間違っていないか。このスピードでいいのか。不安になることはありませんか。私もその一人です。鮮明に記憶に残っていることがあります。生成AIへの取り組みについて、自社や業界内では、いかに規制するかの議論に時間を費やしている時、JIMAでは既に「どう使うのか?」という正反対の議論をしていて、面食らったことがあります。JIMAで得た知見、人脈は新規ビジネスにも役立っています。ジャーナリズムを守り、ビジネスに生かすヒントがここにはあります。

株式会社新潮社

デジタル戦略部　部長
長井 藍 様

同じ領域で情報を発信するメディア同士が、競合という立場を超えて横につながることができる。それがJIMAに参画した理由です。JIMAには日本のウェブを代表するメディアの方々が集まっているため、参加社の方々が我々も悩んでいる課題にどう向き合っているかを率直に聞くことができます。今後はGAFAMやAI企業との関わり方、情報環境の変化への対応方法、読者との向き合い方など、メディア運営で得た知見を共有し、今後も読者に選ばれるメディアであり続ける方法を皆様と一緒に考えていけたらと思います。

© Japan Internet Media Association

09 NETWORK

会員構成（現在のネットワーク）— 理事の紹介

理事



代表理事
竹田 直弘
文藝春秋総局 局長



副代表理事
久川 桃子
株式会社ユーザベース メディアパートナーシップ責任者



副代表理事
山口 圭介
ダイヤモンド社メディア編集局長



有野 寛一
スマートニュース株式会社 Data Analyst of Media & Content



泉谷 由梨子
ハフポスト日本版 編集長



伊藤 有
Business Insider Japan 編集長



上野 拓人
オリコン株式会社 経営企画本部 広報部 部長 兼 オリコンNewS株式会社 執行役員



春日 芳晃
朝日新聞デジタル編成本部長



酒井 雅浩
毎日新聞デジタル編集本部 デジタル報道部長



寺 紀夫
株式会社フジテレビジョン 報道局 経済部 担当部長



蜷川 聡子
株式会社ジェイ・キャスト 常務取締役



松村 敦
Forbes JAPAN 副部長



山田 俊浩
株式会社東洋経済新報社 論説委員

代 泰征
株式会社講談社 イノベーションラボ部長

監事



田島 輔
弁護士

© Japan Internet Media Association

09 MEMBERS

会員構成（現在のネットワーク）— 正会員社・賛助会員社

会員社 五十音・アルファベット順

4MEEE株式会社
ABEMA TIMES
株式会社BCN
BuzzFeed Japan株式会社
株式会社Creative2
FNNプライムオンライン（Fuji News Network）
Forbes JAPAN（リンクタイズ株式会社）
GMOメディア株式会社
JBpress（株式会社日本ビジネスプレス）
J-CASTニュース（株式会社ジェイ・キャスト）
株式会社JX通信社
NEWSポストセブン（株式会社小学館）
SmartNews（スマートニュース株式会社）
TBS NEWS（デジタル）
株式会社朝日新聞社
株式会社朝日新聞出版
株式会社イード
株式会社インタースペース
大分合同新聞社
株式会社オールアバウト
株式会社おはなしタイムズ
オリコンNewS株式会社
株式会社カカクコム
一般社団法人共同通信社
現代ビジネス（株式会社講談社）
株式会社幻冬舎
株式会社幻冬舎ゴールドオンライン
株式会社神戸新聞社
株式会社佐賀新聞社
株式会社産経デジタル
時事ドットコム（株式会社時事通信社）
集英社オンライン
株式会社主婦と生活社
スポーツ報知
スポニチアネックス（株式会社スポーツニッポン新聞社）
スローニュース株式会社
ダイヤモンド・オンライン（株式会社ダイヤモンド社）
ダイヤモンド・チェーンストアオンライン
中京テレビ放送株式会社
デイリー新潮
テレ朝news
東洋経済オンライン（株式会社東洋経済新報社）
日刊ゲンダイDIGITAL（株式会社日刊現代）
株式会社日刊工業新聞社
日刊SPA!（株式会社扶桑社）
株式会社日刊スポーツNEWS
日テレNEWS
公益財団法人ニッポンドットコム
ビジネス＋IT（SBクリエイティブ株式会社）
株式会社ピッチコミュニケーションズ
プレジデントオンライン（株式会社プレジデント社）
文春オンライン（株式会社文藝春秋）
弁護士ドットコムニュース（弁護士ドットコム株式会社）
毎日新聞デジタル（毎日新聞社）
毎日放送（MBSニュース）
みんなの経済新聞ネットワーク（ＪＬＯＣＡＬ株式会社）
株式会社メディアジーン
メディアビズ株式会社
株式会社ユーザベース
読売新聞オンライン（読売新聞社）
ライブドアニュース（株式会社ライブドア）
令和メディア研究所

賛助会員

Edelman Japan株式会社
株式会社コミュニケーションデザイン
株式会社 電通PRコンサルティング
株式会社日本政策投資銀行

© Japan Internet Media Association

10 MEMBERSHIP CATEGORY
会員区分

会員区分は、**正会員・賛助会員・社員**の3つとなります。会費は年会費制となり、会員区分により金額が異なります。

会員区分	対象	年会費
正会員	当法人の目的に賛同して入会したインターネットメディア事業及び関連事業を行う法人、団体又は媒体	150,000円
賛助会員	当法人の目的に賛同して活動を賛助する法人又は団体で、理事会が特に認めるもの	300,000円
社員	当法人の目的に賛同して入会したインターネットメディア事業を行う法人	ご関心のある方は事務局（info@jima.media）までご連絡ください

初年度会費について

初年度の会費は、入会月に応じた下記の金額となります（正会員の場合）。

4月～6月入会	7月～9月入会	10月～12月入会	1月～3月入会
150,000円	112,500円	75,000円	37,500円

※会員規則に関する詳細は「会則」をご参照ください。

© Japan Internet Media Association

11 HOW TO JOIN

入会お申し込み手続き

1 正会員2名による推薦

会則（第2条）に記載のとおり、お申込み時に「弊協会の正会員2名による推薦を受けていること」が条件になります。正会員社はこちらよりご確認いただけます。ご調整が難しい場合は事務局（info@jima.media）までご連絡ください。

2 入会申込みフォームへのご入力

下記フォームへ必要事項をご入力ください。

forms.gle/UQ7FpNm5hjfg9UJy6

3 理事会による審査

4 結果のご連絡

入会審査期間について

入会手続きおよび審査には、お申し込み受領から通常2週間〜1ヶ月程度のお時間をいただいております。入会基準に基づき順次厳正な確認・審議を行っております。1ヶ月が経過しても結果のご連絡が届かない場合は、事務局（info@jima.media）までご連絡ください。

© Japan Internet Media Association

CONTACT

お問い合わせ

JIMAへのご入会・活動に関するご質問は、JIMA事務局までお気軽にお問い合わせください。メディアの創造性と信頼を、ともに育てていく仲間をお待ちしています。

JIMA事務局	info@jima.media
公式Webサイト	https://jima.media/

公式サイト

JIMA

© Japan Internet Media Association. All rights reserved.